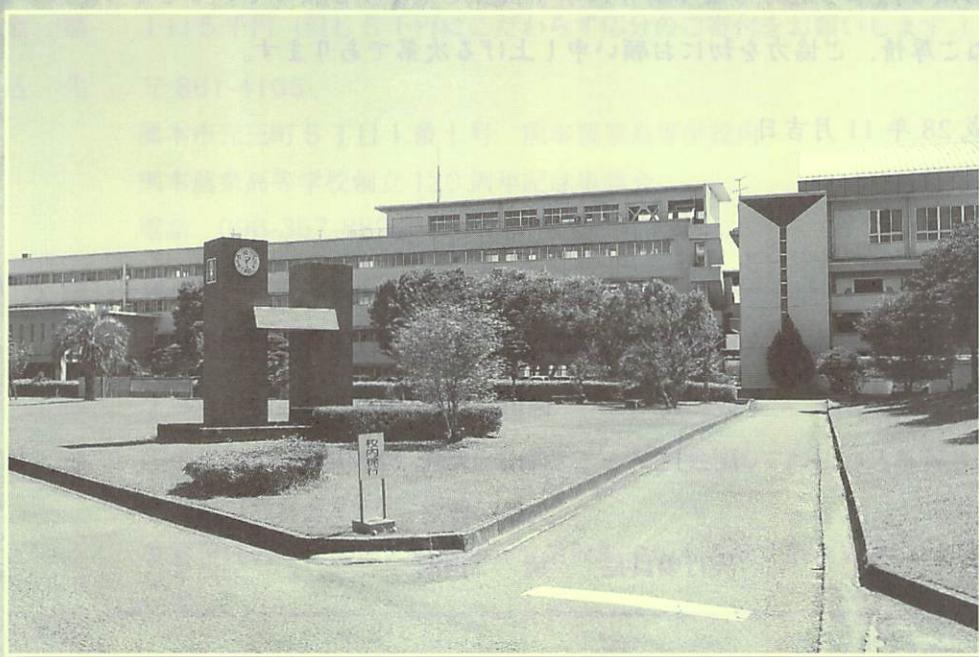
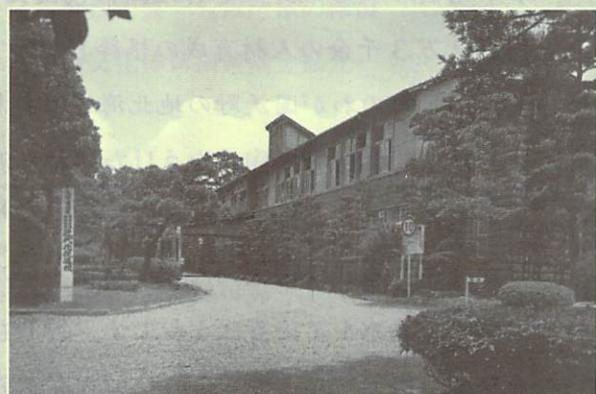
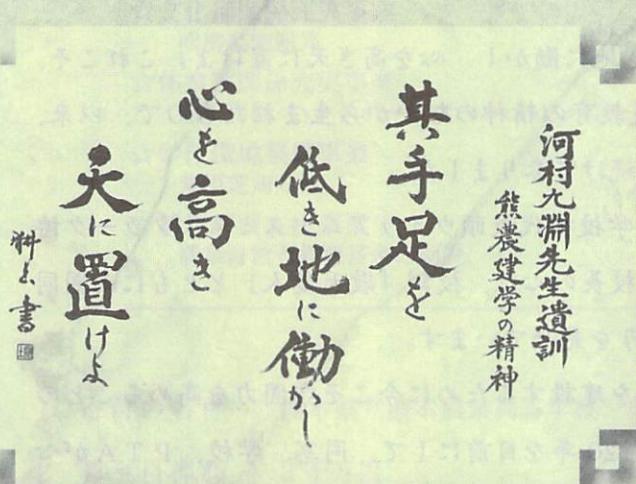


敬天愛人

熊本県立熊本農業高等学校 創立120周年

平成30年11月9日
記念式典
記念祝賀会



■ ■ ■ 熊農創立120周年を目前に ■ ■ ■

広く志を同じくする南園同窓各位、日日の暮らしの安定と平穏の構築のために益々の御健壮、ご尽力のこととお慶び申し上げます。

さて、私たちの母校熊本県立熊本農業高等学校は来るべき平成30年、めでたくも創立120年の記念すべき年を迎えます。母校熊農は明治32年春、本県初めての県立農業学校として、飽託郡出水村に開設いたしました。以来、世紀を超えて120年、輝やく南園の歴史の旗を高々と揚げて参りました。ご同慶のいたりであります。

この間、先の大戦を乗り越え、激変する時代のなかで地域づくり、国づくりのための豊かな人材づくりの拠点として自他共の共感をもつ不動の学校として実績を積み上げ、「日本に熊農あり」の名声を高めてきたところです。

同窓ご承知、熊農建学の精神、「其手足を低き地に働くかし 心を高き天に置けよ」これこそ、わが南園の礎を築いた河村九淵初代校長の実践教育の精神のなかから生まれたもので、以来、同窓2万3千余の人材育成の根幹となって生き続けて参りました。

明治日本のわが國沃野の地北海道は、札幌農学校初代教頭ウイリアム・スミス・クラーク博士の熱き開拓精神の陶冶をうけた河村九淵初代校長の心は、校訓「敬天愛人」とともに南園同窓の心の源流となって地域と国から世界へ広がりを見せています。

今を生きる私達南園同窓は、輝かしい次世代を建設するために今こそ学園力を高めることの大切さを痛感しているところです。折しも創立120年を目前にして、同窓、学校、PTAが心をひとつにして、ささえ合いながら有意義の記念の事業の具体化をも心に描きつつ、熊本大地震後、がんばる熊本の底力を広く斯界に示す機会としようと願っているところです。同窓各位の変わらぬご厚情、ご協力を切にお願い申し上げる次第であります。

平成28年11月吉日

熊本県立熊本農業高等学校創立120周年記念事業会

会長 園田 高信（南園会会長）

副会長 森山 大介（校長）

〃 久保 博之（PTA会長）

実行委員長 境 国嗣

■記念事業募金ご協力のお願い

今回の「熊本地震」でお亡くなりになられた皆様に哀悼の意を表し、被災された多くの方々に心からお見舞い申し上げます。また、一刻も早い復旧・復興を祈念いたしております。

さて、母校熊本農業高校は、平成30年、創立120周年という大きな節目の年を迎えます。同窓会では、永く将来にわたって残る事業、後輩生徒達の心を啓発する有意義な事業など多方面からの検討と内容の具体化を進めるべく、取組みを始めているところであります。事業の内容は、先輩同窓が築いてきた実績をも考慮に入れながら多方面からの視点を重視しなければならないと考えております。

つきましては、記念事業の成功へ、同窓各位一層のご理解、ご協力、ご援助を切に、切にお願い申し上げる次第であります。

【熊農創立120周年記念事業】

☆創立120周年記念式典・祝賀会

☆同窓会名簿の発刊

☆文化部関係充実事業

☆記念誌の発刊

吹奏楽樂器等

☆初代校長住居跡の看板設置

☆体育部関係充実事業

☆松田喜一先輩塑像の修復

乗馬用鞍・ハンドボールゴール・バレー・ボール支柱等

☆文化体育振興基金拡充

☆学校環境整備事業

乗用芝刈り機

☆新規就農支援事業

農業自営者教育基金の創設

- 1 寄付の名称 熊本県立熊本農業高等学校 創立120周年記念事業寄付金
- 2 募金目標額 2千万円
- 3 募金の範囲 南園会員、PTA会員及び本事業の趣旨に賛同の有志
- 4 募 金 額 1口5千円（但し5千円にこだわらず応分のご寄付をお願いします。）
- 5 払 込 先 〒861-4105
熊本市元三町5丁目1番1号 熊本農業高等学校内
熊本農業高等学校創立120周年記念事業会
電話 096-357-8824
- 6 払込方法 郵便振替口座 口座番号 01710-9-145502
同封の振込用紙をご利用下さい。
- 7 期 間 平成30年3月31日まで
- 8 そ の 他 ①市町村や役場等でまとめて頂けるところはまとめてお払い込み下さい。振込手数料は無料です。
②郵便局の窓口での払込受領書で領収証にかえさせて頂きます。

熊本県立熊本農業高等学校創立120周年記念事業趣意書発起人名簿

参議院議員	理事	上田 誠一	旧北部	今井 洋介	(株)水野建設コンサルタント	創立120周年
藤木 真也	"	古川 勝也	天明	林田 英夫	坂崎 亨	記念事業会
	"	山下 秀幸	旧飽田	中村 宗一	教職員南園会 中村 洋介	
県議会議員	"	今村 弘	河内	内田 勝也		
河津 修司	"	市原 正人	山都	飯開 秀昭	一般社団法人 南園	会長 園田 高信
末松 直洋	"	川上 國治	御船	赤星 宏高	理事長 荒牧 弘幸	副会長 森山 大介
	"	上山 和博	嘉島	中富 嘉紀	副理事長 境 国嗣	(学校)
市町村長	"	大住 清昭	益城	川端 房男	" 高木 繁光	" 久保 博之
西原村長 日置 和彦	"	本田 勝敬	甲佐	境 国嗣	理事 内村 保善	(PTA)
	"	橋本 洋夫	美里町砥用	高田 幸也	" 横田 憲章	実行委員長 境 国嗣
熊本農業高等学校	"	荒牧 弘幸	美里町中央	林田 紀昭	" 井 敏春	祝典祝賀部会
校長 森山 大介	"	渡辺 昌明	松橋	上山 和博	" 内田 勝也	部会長 塚田 誠尚
副校长 橋口 英伸	"	満島 洋一	豊野	大槻 光	" 那須 修一	" 紫垣 勇治
教頭 松中 正剛	"	横田 憲章	不知火	河野 一郎	" 陳 基礎夫	
主任事務長 佐藤 正範	"	境 国嗣	三角	田嶋 訓	" 園田 高信	資金調達部会
	"	青木 博志	山鹿	米加田建進	" 小山 獻	
PTA	"	池上 公敏	菊池市	森本 惟誠	" 下田 正和	部会長 小山 獻
元会長 堀田 誠	"	結方 貴範	大津	手嶋 靖隆		副部会長 古田 信幸
元会長 江口 毅	"	永田つるみ	菊陽	服部 貞夫		(九州農政局) 今井 武三
元会長 中村 文治	"	井 敏春	合志	坂田 康臣	南園会広報部会	(県庁) 渡辺 昌明
元会長 藤木 真也	"	牧野 秀人	西合志	大住 清昭	会長 橋本 洋夫	(熊本市役所) 原田 吉雄
元会長 内田 千昭	監事	近藤 貢	天水	坂本 昭	副会長 下田 正和	(南園ゴルフ) 中山 朝晴
元会長 郷 和宏	"	今村 弘	玉東	田尻 隆廣		(南園みずほ会) 永田つるみ
前会長 庄村 安幸	"	下田 正和	玉名市	古川 勝也		(青年部) 牧野 秀人
会長 久保 博之	常任理事	紫垣 勇治	横島	作田 幸祐		(経済同志会) 井 敏春
副会長 菊池 博志	"	後藤 英雄	小国郷	河津 修司		(経済同志会) 吉田 嘉成
" 栃原 薫			久木野	市原 正人		(南園の匠) 那須 修一
" 宮本 和範		地域南園会会长	白水	岩代 一宏		(南園土木会) 坂本 荣治
	供合	宮本 英明	高森	芹口 誓彰		(農産食品会) 池上 公敏
南園会	託麻東	吉村 正三	産山	井 廣明		アドバイザー 紫垣 昭一
顧問 境 峰夫	広畑	栗崎 幸介	西原	日置 和彦		" 江島幾久子
" 中野 正一	保田窪	栗崎 敬一	宇土市	今村 弘		" 荒木 均
" 内村 保善	健軍	佐土原博嗣	八代市南部	湯野 幸輔	南園会青年部	" 高岡 千尋
元副会長 藤川 正弘	秋津	高木 繁光	竜北	本田 勝敬	会長 牧野 秀人	" 井上 憲矢
" 井 敏春	松尾	田尻 竹生	東陽	岩本 近義	副会長 大塚 敏	" 吉本 数夫
	城山		千丁	吉仲 善成	" 村崎 哲也	
南園会役員	熊本市中央	小川 徹	天草	山下 秀幸	南園経済同志会	名簿作成部会
会長 園田 高信	出水南	月足 一彦	関東	田島喜久馬	会長 井 敏春	部会長 下田 正和
副会長 田尻 清輝	画岡	出田 正明	関西	藤村 安則	副会長 坂本 荣治	副部会長 坂本 荣治
副会長 横田 憲章	田迎		福岡	上村 恭一	" 佐土原博嗣	
副会長 小山 獻	川尻校区	志柿 茂喜			記念誌制作部会	部会長 岡村 良昭
理事 栗崎 幸介	力合				南園の匠	
" 清島 司朗	日吉	野口 重信	九州農政局	今井 武三	理事長 那須 修一	記念事業部会
" 小川 徹	富合	坂口 敬一	県庁	渡辺 昌明	専務 田尻 恒憲	部会長 横田 憲章
" 月足 一彦	城南	岡村 巧	熊本市役所	原田 吉雄		副部会長 満島 洋一
" 田尻 清輝	龍田	松岡 政晴	県果実連	山本 正喜		
" 今井 洋介	黒髪	西川 順之	土改連	早川 齊		
" 林田 英夫	清水	宮本 良三	J A熊本市	今井 洋介		
" 内田 勝也	花園	田尻 雄二	(株)南州土木	田代 武則		
" 飯開 秀昭	植木	上田 誠一	(株)アジアプランニング	長田 勝		